

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立矢田西中学校

令和 7 年 4 月

大阪市立矢田西中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 学校や社会のルールを守るなどの生徒の規範意識は高い。
- 自尊感情が全国に比べて低く、家庭や地域とも協力しながら自己有用感を感じられる場面を増やし、自尊感情を高める努力が必要である。
- 学習内容の基礎基本の定着に課題を持つ生徒の割合が高く、読解力、語彙力をつけるとともに、課題に対する意見や考えを交流し、協働して解決をしようとする態度を育て、論理的思考力を向上させる必要がある。
- 家庭における自主的な学習習慣が身についていない生徒が多く、生活習慣のあり方とともに、学習面での自立などの課題が残る。
- 体力面においては、以前は全国体力・運動能力等調査の体力合計点で全国を上回っていたが、コロナ以後、全国平均を上回る種目もあるが、体力合計点で下回っている。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ①全国学力・学習状況調査の生徒質問紙で「学校に行くのは楽しいと思いますか」の設問に対し、肯定的に回答する生徒の割合を85%以上にする。
- ②全国学力・学習状況調査の生徒質問紙で「いじめはどんな理由であってもいけないことだと思いますか」の設問に対し、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。
- ③全国学力・学習状況調査の生徒質問紙で「自分によいところがありますか」の設問に対し、肯定的な回答をする生徒の割合を80%以上にする。
- ④全国学力・学習状況調査の生徒質問紙で「将来の夢や目標を持っていますか」の設問に対し、最も肯定的な「あてはまる」と回答する生徒の割合を50%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ①全国学力・学習状況調査の国語・数学それぞれの教科について、全国平均と比較した平均正答率の差を、R4～R7年度の4年間平均で-5ポイント以内ににする。
- ②全国学力・学習状況調査の生徒質問紙で「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を50%以上にする。
- ③全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点で男女とも全国平均を上回る。

【学びを支える教育環境の充実】

- ①授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業時数の50%以上にする。
- ②「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を45%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

大阪府教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ①校内生徒アンケートで「学校生活が楽しい」の設問での肯定的回答を85%以上にする。
(令和6年度87.9%)
- ②年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。(令和6年度83.8%)
- ③年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。(令和6年度9.67%)
- ④年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。(令和6年度33.3%)
- ⑤校内生徒アンケートで「自分の『よいところ』や『自信のあること』があると思う」の設問での肯定的回答を79%以上にする。(令和6年度78.8%)
- ⑥生徒アンケートで「将来の夢や目標を持っていますか」の設問での肯定的な回答を71%以上にする。(令和6年度平均70.7%)

学校の年度目標

- ①校内生徒アンケートで「学校は落ち着いており、安心して学校生活を送れる」の設問での肯定的回答を85%以上にする。(令和6年度83.8%)
- ②校内生徒アンケートで「いろいろなことを相談できる先生がいる。」の設問での肯定的回答を81%以上にする。(令和6年度平均80.8%)
- ③校内生徒アンケートで「いろいろなことを相談できる友だちがいる。」の設問での肯定的回答を93%以上にする。(令和6年度平均92.9%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

大阪府教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ①中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント以上向上させる。3年国0.91数0.90、2年国数)
- ②大阪府英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を50%以上にする。(令和6年度平均71.0%)
- ③年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を48%以上にする。(令和6年度平均47.4%)
- ④全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点で男女とも昨年度を上回る。(令和6年度男子44.0、女子49.8)
- ⑤校内生徒アンケートで「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の設問に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を53%以上にする。
(令和6年度平均52.5%)

学校の年度目標

- ①全国学力・学習状況調査の国語・数学それぞれの教科で、全国平均と比較した平均正答率の差を－6以内にする。(令和6年度国語－4.1%、数学－5.5%)
- ②中学生チャレンジテスト、チャレンジテスト PLUS において、同じ母集団で、それぞれの学年の全教科の平均正答率を大阪市平均と比較して昨年度より向上させる。(令和6年度1年生＋32.1、2年生－27.7)
- ③大阪市英語力調査における平均スコアで大阪市平均を上回る。
- ④校内生徒アンケートでの「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。」の設問で肯定的回答を93%以上にする。(令和6年度平均 92.9%)
- ⑤校内生徒アンケートでの「家で学校の授業の復習(予習)をしていますか」の設問で肯定的回答を60%以上にする。(令和6年度平均 59.6%)

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標

- ①授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業時数の50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日を除く)(令和6年度 35.0%)
- ②「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を78%以上にする。(令和6年度 77.27%)

学校の年度目標

- ①校内生徒アンケートでの「ICTを活用した学習は、わかりやすい」の設問で肯定的回答を87%以上にする。(令和6年度 86.8%)
- ②ゆとりの日を週に1回以上設定し実施する。
- ③授業力向上に向け教員一人につき1回以上の研究授業を行う。
- ④校内生徒アンケートでの「読書が好きである」の設問で肯定的回答を56%以上にする。(令和6年度平均 54.5%)
- ⑤小中一貫教育を推進するため、小中連携・学校間交流の取り組みを複数回実施し、小中教員合同の研修会を1回以上実施する

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立矢田西中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標</p> <p>①校内生徒アンケートで「学校生活が楽しい」の設問での肯定的回答を85%以上にする。(令和6年度87.9%)</p> <p>②年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。(令和6年度83.8%)</p> <p>③年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。(令和6年度9.67%)</p> <p>④年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。(令和6年度33.3%)</p> <p>⑤校内生徒アンケートで「自分の『よいところ』や『自信のあること』があると思う」の設問での肯定的回答を79%以上にする。(令和6年度78.8%)</p> <p>⑥生徒アンケートで「将来の夢や目標を持っていますか」の設問での肯定的な回答を71%以上にする。(令和6年度平均70.7%)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>①校内生徒アンケートで「学校は落ち着いており、安心して学校生活を送れる」の設問での肯定的回答を85%以上にする。(令和6年度83.8%)</p> <p>②校内生徒アンケートで「いろいろなことを相談できる先生がいる。」の設問での肯定的回答を81%以上にする。(令和6年度平均80.8%)</p> <p>③校内生徒アンケートで「いろいろなことを相談できる友だちがいる。」の設問での肯定的回答を93%以上にする。(令和6年度平均92.9%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【(1)安心安全な教育の推進】</p> <p>防災・減災教育を進め、地域防災リーダーの育成を図るとともに、緊急時体制を確立する。(防災・減災教育の推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学校アンケートの「学校では災害のときにどうすればよいかを学ぶ機会がある」の設問で肯定回答を97%以上にする。</p>	

取組内容②【(1)安心安全な教育の推進】 問題行動の未然防止に向けて関係諸機関と連携した取り組みを行う。(問題行動対応) ----- 指標 防犯教室・SNS 被害防止教室などを年 1 回以上実施する。	
取組内容③【(1)安心安全な教育の推進】 いじめの早期把握と迅速な解消に向けて組織的に取り組む。(いじめ対応) ----- 指標 毎月 1 回いじめアンケートを実施し、3 か月前に認知したいじめの事案に対して「解消している」を 100%にする。	
取組内容④【(1)安心安全な教育の推進】 不登校生徒や家庭に課題がある生徒について関係機関と連携して組織的に取り組む。 (不登校対応) (児童虐待対応) ----- 指標 長期休み前後に不登校生徒の情報交換を行い、不登校生徒を全体の 11%以下にする。	
取組内容⑤【(1)安心安全な教育の推進】 互いの違いを認め合い、人権を大切にする心と態度を育成する。(人権を尊重する教育の推進) ----- 指標 学校評価アンケートの「学校では、人権の大切さや、外国の人・障がいのある人・高齢者などいろいろな立場の人に対する理解について学ぶ機会がある」の設問で肯定的回答を 90%以上にする。	
取組内容⑥【(1)安心安全な教育の推進】 読み物教材を活用し計画的・組織的に道徳の時間を指導するとともに、生徒の主体性を引き出す評価を行う。(道徳教育の推進) ----- 指標 学校評価アンケートの「他の人に対する思いやりの心を大切にしている」の設問で最も肯定的な回答を 62%以上にする。	
取組内容⑦【(1)安心安全な教育の推進】 校内の共通理解のもと、適切な合理的配慮を実施するとともに、共に学び成長する集団づくりを進める。(インクルーシブ教育の推進) ----- 指標 障がいのある生徒についての共通理解を図る場を毎月 1 回設定し、情報交換を行う。 インクルーシブ教育についての研修を年 1 回以上行う。	
取組内容⑧【(1)安心安全な教育の推進】 文化の違いを互いに認め合い尊重する関係性をめざし、多文化共生教育を推進する。(多文化共生教育の推進) ----- 指標 韓国・朝鮮をはじめとする外国の文化や歴史に触れる取り組みを各学年 1 回以上実施する。	

<p>取組内容⑨【(1)安心安全な教育の推進】</p> <p>心を揺さぶられる本物の芸術・芸能や人権をテーマにした演劇に触れたり体験することで豊かな人間性を育成する（人権を尊重する教育の推進）（道徳教育の推進）</p> <hr/> <p>指標</p> <p>年に1回、芸術・芸能等の文化的行事に触れる機会をつくり、事後のアンケートにおいて肯定的な回答を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑩【(1)安心安全な教育の推進】</p> <p>生徒の自主性を促し自尊感情を育みながら、縦横の人のつながりを大切にした学校文化を醸成する。（人権を尊重する教育の推進）（道徳教育の推進）</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学校アンケートの「学校行事は充実している」の設問で肯定的回答を88%以上、「学校は楽しい」の設問で肯定的回答を85%以上にする。</p>	
<p>取組内容⑪【(1)安心安全な教育の推進】</p> <p>職業・進路に関する学習や体験活動等を通じ、将来の生き方を考え、社会に参画する力を養う。（キャリア教育の推進）</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学校アンケートの「学校では、将来の進路や生き方について、考える機会がある」の設問で肯定的回答を90%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式2)

大阪市立矢田西中学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A:目標を上回って達成した B:目標どおりに達成した
C:取り組んだが目標を達成できなかった D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標</p> <p>①中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント以上向上させる。(3年国0.91数0.90、2年国数)</p> <p>②大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を50%以上にする。(令和6年度平均71.0%)</p> <p>③年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を48%以上にする。(令和6年度平均47.4%)</p> <p>④全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点で男女とも昨年度を上回る。(令和6年度男子44.0、女子49.8)</p> <p>⑤校内生徒アンケートで「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」の設問に対して、最も肯定的な「好き」と回答する生徒の割合を53%以上にする。(令和6年度平均52.5%)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>①全国学力・学習状況調査の国語・数学それぞれの教科で、全国平均と比較した平均正答率の差を-6以内にする。(令和6年度国語-4.1%、数学-5.5%)</p> <p>②中学生チャレンジテスト、チャレンジテストPLUSにおいて、同じ母集団で、それぞれの学年の全教科の平均正答率を大阪市平均と比較して昨年度より向上させる。(令和6年度1年生+32.1、2年生-27.7)</p> <p>③大阪市英語力調査における平均スコアで大阪市平均を上回る。</p> <p>④校内生徒アンケートでの「授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。」の設問で肯定的回答を93%以上にする。(令和6年度平均92.9%)</p> <p>⑤校内生徒アンケートでの「家で学校の授業の復習(予習)をしていますか」の設問で肯定的回答を60%以上にする。(令和6年度平均59.6%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標

進捗状況

<p>取組内容①－１ 国語科【(4)誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>読解力向上の取り組みを継続的に行い、力の定着を図る。 (主体的・対話的で深い学びの推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>三年生の大阪府中学生チャレンジテストの「思考力、判断力、表現力等」の領域の得点率において、前年度を上回る。</p>	
<p>取組内容①－２ 社会科【(4)誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>単元ごとに小テストを行い、社会科の知識理解の定着をさせる</p> <hr/> <p>指標</p> <p>大阪府中学生チャレンジテストの知識理解の得点率において、各学年、前年度を上回る。</p>	
<p>取組内容①－３ 数学科【(4)誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>基礎・基本の習得につとめ、「問題が解ける」感覚を身につけさせる。(言語活動・理数教育の充実)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>大阪府中学生チャレンジテストの数学的な知識・技能の得点率において、各学年、前年度を上回る。</p>	
<p>取組内容①－４ 理科【(4)誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>科学的に探究する能力の基礎と態度を育成するために、生徒の興味、関心、意欲を高める観察や実験を単元ごとに必ず行う。(主体的・対話的で深い学びの推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>授業アンケートにおいて、「授業を受けてその内容に興味や関心や意欲を持つようになっていますか」の設問で肯定的な回答を80%以上にする。</p>	
<p>取組内容①－５ 音楽科【(4)誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>音楽活動に必要な基礎的な知識の理解と演奏能力の伸長を図る。(主体的・対話的で深い学びの推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>授業アンケートにおいて、「音楽が好き」「音楽の授業がよくわかる」の設問について、肯定的回答を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容①－６ 美術科【(4)誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>美術の基礎的能力の伸長を図り、美術を愛好する気持ちを育む。(主体的・対話的で深い学びの推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>美術科でアンケートを行い、「授業がよくわかる」「美術が好き」の設問について、肯定的回答を70%以上にする。</p>	
<p>取組内容①－７ 技術家庭科【(4)誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業の中で適宜、実習や制作を行い、基礎的な知識や技術の習得を図る。(主体的・対話的で深い学びの推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>授業アンケートにおいて、理解度・習得度の肯定的回答を70%以上にする。</p>	

<p>取組内容①ー 8 英語科【(4)誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業内で発話・コミュニケーションを取り合う場面を設け、英語での自身の考えを伝える、書く能力の向上を図る。(主体的・対話的で深い学びの推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>授業内でパフォーマンステストを行い、その評価が A 以上の生徒が 50%以上にする。また、大阪市英語力調査(GTEC)における CEFER A1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合を 40%以上にする。</p>	
<p>取組内容①ー 9 保健体育科【(5)健やかな体の育成】</p> <p>集合整列・準備運動などの授業規律を確立するとともに、運動の楽しさだけでなく、体力や健康への関心を高め、体力の向上を図る取り組みを進める。(体力・運動能力向上のための取組の推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>スポーツテストを実施し、各個人の体力・運動能力を把握させる。</p> <p>学校アンケートの「学校では、自分の体力や運動能力を知り、体力や運動能力を向上させる機会がある。」の設問で肯定的回答を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【(5)健やかな体の育成】</p> <p>基本的な生活習慣の育成を図るため健康・安全に関する指導を計画的におこなう。感染症対策を正しく理解・実践できるように取り組む。(健康教育・食育の推進)</p> <hr/> <p>保健指標</p> <p>だより等を活用して積極的な情報発信に努め、学校アンケートで「私は健康的な生活を送るよう心がけている」の設問で肯定的な回答を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【(5)健やかな体の育成】</p> <p>食に関する興味・関心を高める指導を行う。(健康教育・食育の推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学年別に食に関する指導を実施し、学校アンケートで「学校では「食」について学ぶ機会がある」の設問で肯定的回答を 80%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【(5)健やかな体の育成】</p> <p>喫煙・飲酒・薬物乱用の害に対する指導や性に関する指導を計画的に進める(健康教育・食育の推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>学校アンケートで「学校では「喫煙・飲酒・薬物乱用の害」や「性」についてなど、命を大切にして生きることを学ぶ機会がある」の設問で肯定的回答を 80%以上にする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式2)

大阪市立矢田西中学校 令和6年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標(施策目標)を達成するための年度目標</p> <p>①授業日において、生徒の8割以上が学習者用端末を活用した日数を、年間授業時数の50%以上にする。(ただし事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日を除く)(令和6年度 35.0%)</p> <p>②「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を78%以上にする。(令和6年度 77.27%)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>①校内生徒アンケートでの「ICTを活用した学習は、わかりやすい」の設問で肯定的回答を87%以上にする。(令和6年度 86.8%)</p> <p>②ゆとりの日を週に1回以上設定し実施する。</p> <p>③授業力向上に向け教員一人につき1回以上の研究授業を行う。</p> <p>④校内生徒アンケートでの「読書が好きである」の設問で肯定的回答を56%以上にする。(令和6年度平均 54.5%)</p> <p>⑤小中一貫教育を推進するため、小中連携・学校間交流の取り組みを複数回実施し、小中教員合同の研修会を1回以上実施する</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【(6)DXの推進】</p> <p>ICTを活用した教育活動を推進し、生徒の個別最適化した学習や生徒理解の充実を図る (ICTを活用した教育の推進)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>教職員において、ICT活用推進に努め、ICT機器を活用した授業をする。また、採点補助システムの活用を推進する。生徒において、テストや行事の日を除いて、NAVIMA・心の天気を活用する機会を設け、一人一台端末の日別活用率80%を目指し、達成率が月の50%以上を目指す。</p>	

取組内容②【(7)人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 「学校園における働き方改革推進プラン」を推進し、長時間勤務の改善に取り組む。 (働き方改革の推進)	
指標 教員の一人当たり平均時間外勤務時間を 3 2 時間以内にする。	
取組内容③【(7)人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 各自の指導法の改善に向けて、研究授業に積極的に取り組む。(教員の資質向上・人材の確保)	
指標 研究授業を全教員 1 回以上実施する。	
取組内容④【(8)生涯学習の支援】 学校図書館の利用を促し、生徒の読書習慣の向上や、学習指導での活用を図る。 (学校図書館の活性化)	
指標 図書館を整備し、蔵書の内容の充実を図る。貸出冊数が昨年度を上回るよう、全体への呼びかけ、取り組みを積極的に行う。	
取組内容⑤【(8)生涯学習の支援】 博物館・美術館などの学習施設の活用を図り、学校以外で学ぶ意欲・態度を育成する。 (「生涯学習大阪計画」に基づいた取組)	
指標 大阪の史跡や博物館等で学習する機会を年 1 回設ける。	
取組内容⑥【(9)家庭・地域等の連携・協働した教育の推進】 地域小学校と共に小中一貫教育を推進する。(教育コミュニティづくりの推進)	
指標 学年末の小学校 6 年生の中学校入学に関するアンケートの意識調査において、8 割以上の項目で肯定的な回答を 80%以上にする。 小中両校の職員の合同研修を 1 回以上行う。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	